

## 課題情報シート

課題名：	紅型の魅力 ～沖縄の染織に触れよう～		
施設名：	沖縄職業能力開発大学校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	ホテルビジネス科
課題の区分：	総合制作実習課題	課題の形態：	研究

### 課題の制作・開発目的

#### (1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術

観光・文化論、セールスプロモーション論、商品企画実習、企画演出実習、情報処理技術実習

#### (2) 課題に取り組む推奨段階

商品企画、情報処理技術実習、観光・文化論などの基礎技術の習得後

#### (3) 課題によって養成する知識、技能・技術

課題を通して、観光・文化論、商品企画、企画演出などの管理手法を身に付けます。

#### (4) 課題実習の時間と人数

人数：2名

時間：216時間

沖縄は観光立県であり、観光客を魅了する様々な伝統が根付いています。代表的なものとして、組踊、エイサー、琉球ガラス、染織物、三線などがあります。

なかでも経済産業大臣指定伝統的工芸品に指定されている染織の種類数は沖縄県が11種類であり、京都府8種類、新潟県6種類等と比べ全国で一番です。しかし、染織の種類数が多いにもかかわらず認知度が低いものも多く、また人手不足や生産量が限られ、一つの品物が高値になってしまい、消費者が少ないのが現状です。そこで、県内の若い人や県外の人にも沖縄染織の魅力を感じてもらうため、安価で身近に使ってもらえるエコバッグの製作とホームページの作成を行いました。

### 課題の成果概要

#### 1. オリジナル紅型製品（エコバッグ）造り

現在沖縄では、伝統工芸品として染織が全国一であり、お土産店でも染織製品を多く見かけます。しかし、そのほとんどが手織り・手染めのものではなく、プリント生地を使用し機械で作成したものです。これでは本来の沖縄染織の良さが伝わりません。

そこで手染めの紅型にこだわり、エコバッグを製作することにしました。

エコバッグの定義を

1. 何度も洗えること
2. ある程度重いものが入るくらい丈夫である
3. 小さく畳めること
4. 生地が天然素材であること

と決め、それに準拠するように麻 100%の生地をした紅型のバッグを製作しました。

工程は、図 1 に示すように無地バッグの作成、豆汁引き、色差し、隈取の順で行いました。



図 1 オリジナル紅型バッグ 製作工程

実際に持ってみるとサイズも大きくエコバッグに最適で、また折りたためば手のひらサイズになるので持ち運びも楽にできるよう作ることができました。



図 2 オリジナルエコバッグ完成品

## 2. ホームページ作成

今回作成した製品や認知度の低い染織物を県内県外いろいろな方に知ってもらうためにホームページを作成しました。

内容は

- ・私たちの活動の紹介
- ・染織の歴史
- ・沖縄染織 11 種類の紹介
- ・紅型づくりの技法

となっています。



図 3 ホームページ

## 課題制作・開発の訓練ポイントおよび所見

今回、紅型の魅力のテーマとして学生 2 名を担当しましたが、まずオリジナルの製品を製作するにあたって、プリント生地ではなく、手染めの生地を使用することを前提に進めていました。しかし、お土産店、生地販売店、工房など、どの店も手染めの生地を取り扱っていませんでした。理由としては、「お土産店・生地販売店では高価で売れないため」、「工房では生地の販売はやらない。着物以外は販売しない」とのことでした。

手染めの生地は市販のものがなく、手に入れることができなかつたため、最終的には紅型の染め方を学び、体験施設で工程を体験し、一からオリジナルの紅型製品を製作することとなりました。

結果的には、沖縄伝統の染物を実際に染めるところから製作するという貴重な体験もでき、伝統工芸の染物の技術も習得できたため、非常に良い経験になったと思います。

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品製作に伴う発想力と諸技術力（商品企画）を養います。</li> <li>○ 商品企画の提案力(セールス力)を身に付けます。</li> <li>○ 材料の調達から試作に至るまでの商品企画、企画演出などの管理手法を身に付けます。</li> <li>○ 情報処理技術の総合企画・表現力を身に付けます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ オリジナルの作品を製作することで、セールスポイントや商品の製作工程、コストについて理解を深めます。</li> <li>◇ 紅型の生地は、プリント生地ではなく手染めの生地を使用することで沖縄伝統の染色技術への理解を深めます。</li> <li>◇ ホームページの作成 さまざまな人が沖縄の伝統工芸品について詳しく知ることが出来るように分かりやすく、見やすいホームページについて検討しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商品企画から作品製作に至るまでの知識は授業科目を通して指導しています。</li> <li>● 実際に現状を調査するためには、調査計画書を十分検討し、あらゆるノウハウ、商品企画力、セールス力を駆使すること等を指導してきました。</li> <li>● 最終的には、学生が諸条件をいかにクリアし、意思決定(決断力)に結び付けることができるかなどを指導してきました。</li> </ul>

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 沖縄職業能力開発大学校  
住所 : 〒904-2141  
沖縄県沖縄市池原 2994-2  
電話番号 : 098-934-6282 (代表)  
施設 Web アドレス : [http://www.ehdo.go.jp/okinawa/index\\_pid\\_28.html](http://www.ehdo.go.jp/okinawa/index_pid_28.html)